

キャリアを形成する

1 「目指す自分」になるための挑戦

Point



仕事という経験を通して、社会人としてさまざまな成長を遂げていくことになります。与えられる機会を待つだけでなく、「目指す自分」を目標として設定した上で、積極的なチャレンジをすることが非常に大切です。

(1) キャリア形成の機会

仕事の経験を通して私たちは、知識・スキル・能力を高めていくことになるわけですが、成長のための機会は大きく分けて二つに整理することができます。

まず、実際に与えられた仕事をしながら上司や先輩から指導を受けたり、失敗から学ぶというもので、企業内教育手法の一つとして定着しているOJT (On The Job Training) と呼ばれるものです。これは、意図的・計画的・継続的に業務処理能力などを育成するためのものです。そしてもう一つは、Off-JT (Off The Job Training) で、日常の業務からは離れて研修会や講習会に参加することによって、知識を高めたり意識を向上させるというものです。いずれも会社側から与えられる人材育成のための機会ですが、キャリア形成には不可欠なものです。

しかし、このように与えられる機会だけで満足するのではなく、日頃から「目指す自分」「ありたい自分」を目標として設定することが重要となります。自ら設定した目標に到達したいという思いは、主体性の発揮につながって成長を加速させるための大きな力となるからです。興味関心のある社外セミナーやイベントに参加する、通信教育や書籍から新たな知識を獲得する、資格取得に向けた取り組みをするなど、積極的な行動で自ら機会を作り出していくことにより、キャリア形成の機会は大きく広げることが可能となります。